

ウガンダ他の財務省行政官等が阪神・淡路大震災の経験と災害復興下の資金調達を学ぶ

JICA東京は、今月より約2週間、アフリカ、アジア、中東、大洋州から各国財務省の行政官ら22名を研修員として日本に招き、各国政府の債務の管理能力向上のため、我が国の経験や現状等を共有する研修を行います。

そのうち、自然災害からの復興資金の調達と債務管理の観点で、神戸市を訪れます。研修員はまず「人と防災未来センター」を訪問し、リアルに再現された震災後の街並み等を歩く体験を通じて阪神・淡路大震災のインパクトを体感します。翌日、神戸市の復興資金調達と債務管理の経験について、日本人専門家から講義を受けます。

22名の一人ウガンダの研修員は、毎年20万人以上が干ばつ・洪水・土砂崩れ等の自然災害の被害を受けているとも言われている母国に必要な復興資金調達を課題としており、兵庫県、神戸市の体験が国を救うための貴重なヒントになることと思われます。

ぜひ取材・報道をご検討ください。なお、取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いいたします。

<取材可能な研修内容>

日時	内容	場所
5/28(日) 16:10~17:10	施設見学：人と防災未来センター	神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
5/29(月) 9:00~12:15	講義：阪神・淡路大震災の経験に学ぶ災害復興下の資金調達と公的債務管理	JICA関西 ※

※ 詳細はお問い合わせください

<ご参考>

研修コース名 : JICA 東京 課題別研修「公共財政管理・公的債務管理エグゼクティブ・プログラム」

全体研修期間 : 2017年5月17日~6月3日

その他 : 研修監理員が同行し、必要に応じ通訳（英語-日本語）を行います

【本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 産業開発・公共政策課 木田 克人

TEL 03-3485-7635 e-mail : Kida.Katsuto@jica.go.jp